

仙白園プロジェクト

No. 108



ハクタイ

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てる活動から発展して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。

8月・9月の若者事業は、畑を飛び出し、海へ街へと、広範囲で活躍しました。

まずは、8月20日に東六郷コミュニティ広場で行われた「オープニングミニステージ」。これは、旧東六郷小学校の跡地に完成したコミュニティ広場のお披露目イベントで、コロナで延期が続き、地域の方々待望の場でした。ここでは、仙白園で作った野菜と、絆サイダーの販売を行い、野菜34袋、サイダー115本が完売！イベントを企画し、被災した六郷東部地区のにぎわい再生のために活動する「わたしのふるさとプロジェクト」に売上金を全額寄付しました。



そして、9月は若者事業として初の試み、「大学生が考える 荒町ゆうゆうフェスティバル」の開催。「若林区の市街地でも活動をしたい」、「コロナでイベントが減って寂しい思いをしている子供たちを元気にしたい」という想いをもとにして、5月から企画してきました。

当日会場となった「荒町元気広場」には、地域の子供たちや保護者、運営者を合わせて、なんと約400名の方々が来場しました。また、ジュニアリーダーやチャボ！の皆さんも活躍し、さらには、宣伝や運営の面で荒町小の先生方、おやじ会の方々にも御協力いただき、「子どもたちを笑顔にする」、「地域の結びつきを強くするきっかけを作る」イベントになりました。なお、この日も絆サイダーの販売を行い、用意した144本が完売！この売上金も8月と同様、全額寄付しています。



これまで元気広場で行われた大きなイベントはなく、2週間前までは背丈ほどの草が生え放題の土地でした。ゼロからのスタートでしたが、地道な準備を重ねた結果、「若者の力で地域を動かす」、「若者の力で地域に貢献する」という若者事業のねらいが凝縮された1日となりました。

高校生～30代程度の参加者大募集！あなたの力で地域を動かしてみませんか？
若林区中央市民センター 286-1901(担当:青沼) ホームページもご覧ください→

